

受講番号		氏名	
------	--	----	--

2019 年度

登録造園基幹技能者講習

東京会場

[注 意]

1. 答は別の解答用紙に記入してください。
2. 答を訂正する場合は、消しゴムでていねいに消して訂正してください。
3. この問題用紙の余白は、計算等に使用して差し支えありません。
4. 退席の際、解答用紙とともにこの問題用紙も回収しますので、持ち帰らない
てください。

一般社団法人 日本造園建設業協会
一般社団法人 日本造園組合連合会

[問題 1] 登録造園基幹技能者の役割に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 現場状況に応じて施工方法の提案・調整が的確に行える。
- (B) 現場において、関係他工種を担当する職長と連携・調整が的確に行える。
- (C) 配下の技能者の適切な配置、作業方法や手順等の指示が的確に行える。
- (D) 現場生産技術の向上のための新工法の研究開発が的確に行える。

[問題 2] 登録造園基幹技能者に求められる能力として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 十分な経験を有し、熟達した作業能力
- (B) 設計趣旨を十分理解して設計監理ができる能力
- (C) 現場施工の進展等に的確に対応する能力
- (D) 現場をまとめ、効率的な作業を実施するための管理能力

[問題 3] 造園工事と造園技能者の特性に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 造園工事は、多種材料を利用するため、造園技能者は個々の素材の正しい知識を習得する。
- (B) 造園工事は、小規模ながら多工種にわたるため、造園技能者は多技能を備える。
- (C) 造園工事は、樹木や自然石等の自然素材を利用するため、造園技能者はそれらを美的におさめる感性と技能を習得する。
- (D) 造園工事は、全体の出来栄よりも個々の寸法規格を最優先とするため、造園技能者は厳格な品質管理が求められる。

[問題 4] 造園的ものづくりにおいて配慮すべき事項として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 生物多様性の排除
- (B) 合理性・機能性
- (C) 自然との調和
- (D) 安らぎの提供

[問題 5] 造園工事設計の手順に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 構想は、計画地の機能、事業費概算、運営・管理の方法などを検討する段階である。
- (B) 基本計画は、空間イメージを決める段階である。
- (C) 基本設計は、イメージを具体的な形にする段階である。
- (D) 実施設計は、基本設計の内容を施工に必要な設計図書にする段階である。

[問題 6] 設計図書の優先順位として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 現場説明書 > 共通仕様 > 設計図 > 特記仕様書
- (B) 現場説明書 > 設計図 > 特記仕様書 > 共通仕様書
- (C) 現場説明書 > 特記仕様書 > 設計図 > 共通仕様書
- (D) 共通仕様書 > 設計図 > 特記仕様書 > 現場説明書

[問題 7] 実務に役立つ話し方の注意点に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 相手の質問を受けるとともに、話し手からも質問をする。
- (B) 話を進める際、検討案は一案のみを用意し、代替案は提示しない。
- (C) 話のテーマをよく理解し、話の優先順位をつけて話す。
- (D) 話す相手との向き合う距離に注意する。

[問題 8] 関係者との調整方法に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 他業種の職長には、作業範囲を明確に示す。
- (B) 関連工事の内容や特徴を理解する。
- (C) 樹木は生き物であり、植栽時期が限定される事を伝える。
- (D) 工程会議では、必要事項は後から詳しく伝える。

[問題 9] OJT に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 部下への指導強化も図れ、管理職の指導の強化にもつながる。
- (B) 個人の仕事の能力レベルに合わせた教育ができる。
- (C) 部下への指導が業務の改善にもつながり、相互信頼が深まる。
- (D) 計画的な実践教育ができず、フォローアップが難しい。

[問題 10] 現場での報告・連絡に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 結論を先に伝える。
- (B) 理由を先に伝える。
- (C) 経緯を先に伝える。
- (D) 背景を先に伝える。

[問題 11] 都市公園の設置基準に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 街区公園は、街区内に居住する者が容易に利用できるような配置し、その敷地面積は 0.25ha を標準とする。
- (B) 近隣公園は、近隣に居住する者が容易に利用できるような配置し、その敷地面積は 2.0ha を標準とする。
- (C) 地区公園は、徒歩圏内に居住する者が容易に利用できるような配置し、その敷地面積は 4.0ha を標準とする。
- (D) 風致公園は、利用目的に応じて都市公園としての機能を十分発揮できるように配置し、その敷地面積を定める。

[問題 12] 公共工事の品質確保の促進に関する法律(略称「品確法」)に定める「発注者の責務」として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 設計図書に適切に施工条件を明示すること。
- (B) 技術者・技能労働者等の育成及び確保に努めること。
- (C) 適正な額の請負代金での下請契約の締結に努めること。
- (D) 労働環境の改善に努めること。

[問題 13] はしごを使用しての高木剪定に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) はしごは、平坦な場所にて一人で設置する。
- (B) 上部をしっかりと固定する。
- (C) 作業を終えてはしごを降りるときは、補助者は必要としない。
- (D) はさみを手に持って昇降する。

[問題 14] 特別教育が必要な作業として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) チェーンソー使用の伐採作業
- (B) 刈払機を使用した草刈作業
- (C) ロープ高所作業
- (D) 研削砥石の取替え

[問題 15] 18歳未満の年少者に従事させてはいけない作業として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 二人以上で行うクレーンによる玉掛け作業の補助業務
- (B) 休日や深夜の作業
- (C) 胸高直径 20cm の立木の伐採
- (D) 高さが 3m の庭木の剪定作業

[問題 16] 工程・原価・品質の相互関係の一般的な事象に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 突貫作業になると原価は高くなる。
- (B) 突貫作業になると品質は悪くなる。
- (C) 品質を良くすると工程は遅くなる。
- (D) 品質を良くすると原価は安くなる。

[問題 17] 設計変更ができないケースとして、**適当なもの**はどれか。

- (A) 設計図書に誤謬又は脱漏がある場合
- (B) 発注者と「協議」をしているが、協議の回答がない時点で施工を実施した場合
- (C) 設計図書に示された自然的又は人為的な施工条件と実際の工事現場が一致しない場合
- (D) 工事中止の場合

[問題 18] 一般的な植栽の作業順序として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 地被 → 低木 → 中木 → 高木
- (B) 地被 → 高木 → 中木 → 低木
- (C) 高木 → 中木 → 低木 → 地被
- (D) 高木 → 低木 → 中木 → 地被

[問題 19] ネットワーク工程表におけるクリティカルパスに関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 全体工程短縮の検討は、クリティカルパスの日数を減らすことである。
- (B) クリティカルパスは、開始点から終了点までのすべての経路の中でもっとも時間が長い経路である。
- (C) クリティカルパスでは、トータルフロートは「ゼロ」にはならない。
- (D) クリティカルパスは、複数本となる場合もある。

[問題 20] 登録造園基幹技能者に関する次の記述の(ア)(イ)の語句の組み合わせとして、**適当なもの**はどれか。

登録造園基幹技能者は、(ア)や石などの自然素材を、工事の目的にふさわしい(イ)とすることが大切である。

	(ア)	(イ)
(A)	植物材料	形状寸法
(B)	植物材料	おさまり
(C)	コンクリートブロック	形状寸法
(D)	コンクリートブロック	おさまり

[問題 21] 良好な植栽基盤に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 長谷川式簡易現場透水試験器で、最終減水能 30mm/h であった。
- (B) 長谷川式簡易現場透水試験器で、最終減水能 50mm/h であった。
- (C) 長谷川式土壌貫入計で 1.5cm/drop であった。
- (D) 長谷川式土壌貫入計で、1.0m/drop であった。

[問題 22] 屋上緑化の資材搬入における注意点として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 効率的な揚重機器の使用法
- (B) 適切な資材の仮置き、保管場所の選定
- (C) 防水層の保護
- (D) 人工軽量土壌の育成管理

[問題 23] 公共用緑化樹木等品質寸法規格基準(案)の測定に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 根鉢の上端より 1.2m 上がりの位置で枝が分岐しているときは、その下部にて測定する。
- (B) 設計図書で 2 本立ちの場合、2 本とも所要の樹高に達していること。
- (C) 設計図書で 3 本立ち以上の場合、1 本は所要の樹高に達しており、他は所要の樹高の 70%以上に達していること。
- (D) 枝張の測定にあたって、測定方向により幅に長短がある場合は、最長と最短の平均値とする。

[問題 24] 造園工事における予定価格積算に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 直接工事費とは、工事目的物をつくるために直接投入される費用で、材料費、労務費、直接経費の合計をいう。
- (B) 直接経費とは、特許使用料、水道光熱電力料、機械経費の合計をいう。
- (C) 間接工事費とは、工事全体を通じて共同的に必要とする費用で、共通仮設費と現場管理費の合計をいう。
- (D) 共通仮設費の中の運搬費とは、材料の運搬に要する費用をいう。

[問題 25] コストダウンの考え方に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 損益分岐点を上げる。
- (B) 不採算部門を縮小する。
- (C) 粗利益を活かす。
- (D) 変動費を低減する。

